

江東区
昔と今

豊洲

火力発電所

東京電力株式会社新東京火力発電所（豊洲発電所）は、昭和31年（1956）に戦後初の
大規模石炭火力発電所として操業を開始しました。

発電所には、経済発展のシンボルとして6本の煙突がそびえ立っていました。

発電所があった豊洲ふ頭（豊洲6）は、東京港修築5ヶ年計画によって昭和23～25年
（1948～50）に公共用石炭専用ふ頭と
して工事が進められた後、同29年（1954）
に東京ガス・東京電力用地として埋め立てが
許可され、工事が進められました。

平成3年（1991）に発電所は廃止され、
跡地に新豊洲変電所が建設されました。



豊洲 6-1・2 付近 新東京火力発電所（江東区教育委員会 所蔵）



現在の豊洲 「魅力百様、江東区。オンライン観光写真コンテスト」入賞作品より



平成25年当時の豊洲